

3/3

今朝は快晴、涼しい朝の風が流れて肌が冷たく気持ちよい。「不屈不撓」の標識を見ながら振り向くと、昨日汗を流して越えてきた甲斐駒が姿を現わして挨拶をしてくれる。登頂した山の懐けよだ。もう三合目だ。

今日の先頭は飯島さん、しょうど8:00頃、飯島さんが「あー富士山だ」と叫ぶ。笹島さんが「度々大仏殿の屋根のようだ」といって表現で指さす。樹林帯を抜けて青空の輝く谷合へ来ると、前面が広がり、遠くの山々が大きくクロスアップ。北岳は左に見え、小太郎山の稜線が美しく見える。

やっぱり小仙丈の丸くない、頂上に立つ、崩壊状の駒が岳が摩利支天に支えられながら偉容を誇っている。北岳は益々大きく立ちはだかり、その左には雲を抱いた富士の眺め、日本一ニが並ぶ。

360°のパノラマ、中央アルプス、乗鞍安八が岳、北ア、白山峰三山と富士山。

今日も天候に恵まれ暑い日。気温は20℃、微風があって、じっとしてお水は居心地よく、展望も広大で昼食をする。

3032.7M

仙丈岳
せんじょう

大仙丈岳

至三峰岳

至市野瀬

至辰野

辰野

至豊橋

スノーボード
出入口

戸台山荘
バス停

バス7:35発乗車

今日は特別
急行伊豆8:55着
豊橋着13:20
名鉄特急13:25-名古屋14:20着

山頂からの広大なカールは美しく、高度差約500メートル、扇状の斜面には高山植物の草花が咲き誇って壮観である。仙丈小屋の下はハイマツとナナカマド、その下には白や黄色の花が埋め尽くしている。

下山路は戸台川に沿ったゆるやかな道、臨時バスがあると聞き急ぎ足で下る。

丹溪山荘は、川の斜面の高台に建てる水景色抜群、沢の音は気になるが、疲れた体に一杯飲み、朝まで気付かずよく眠る。

東大事務局に勤務する梅野さん、齊藤さんと話す。両方共山のベテランで、ザックが大きい。酒の肴を頂いて賑やかな夕飯となる。

① 梅野さんは後に女学生登山史を出版。

